

プログラム名：科学技術外交の展開に資する国際政策対話の促進
応募番号：0702

提案国際集会名：e-アジア国際シンポジウム 2011（The e-ASIA
International Symposium 2011）

総括責任者名：理事長 武田 郁夫

提案機関名：一般財団法人 武田計測先端知財団

コメント

本提案は、民間が中心となって e-アジア構想に関するワークショップ及びシンポジウムを開催し、同構想の利点や課題、解決策等について多面的な討議を行い、域内連携の在り方について、アジア社会の合意形成を図ろうとする取組であり、広く科学技術全般に波及する効果を持つものと期待される。アジアにおいて我が国が果たすべき役割等も意識して企画されており、アジア各国から招聘する人選も具体的であることから、政府による科学技術協力を補完し、科学技術外交推進に役立つ取組として高く評価できる。

なお当初日中韓3ヶ国連携構想として始められた e-アジア構想が、これまでの取組において、これら3ヶ国で必ずしも進展しなかった原因を分析し、将来に向けてその対応策を講じること、更にインドをも連携の中に組み込むような取組とすることを期待する。